JTUC-TOKUSHIMA
連合徳島

vol. 318

発 行：日本労働組合総連合会徳島県連合会
編集責任者　島　和　久

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel . 088(655)4105
fax. 088(655)4113
E-mail　info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

当面の日程

- ◎ 6月8日(火)～9日(水)　女性のための連合全国一斉集中労働相談ホットライン(連合徳島会議室)
- ◎ 6月28日(月)　連合徳島２０２１年度地方委員会(徳島グランヴィリオホテル)
- ◎ 6月28日(月)　NPO法人徳島労働安全衛生センター第20回定期総会(徳島グランヴィリオホテル)

第92回メーデー 4地区で開催

メーデースローガン
「今こそ心をひとつに！働く仲間の笑顔のために
感謝と思いやりの絆をつなぎ
希望あふれる未来を切り拓こう！」

新居メーデー実行委員長があいさつ

第92回徳島メーデーが2021年5月1日、県内4カ所で開催された。新型コロナウイルス感染拡大防止に対応するため、各会場共に対策を講じ開催に向け準備を進めていたが、徳島アラート引き上げにより、開催方法・場所・規模の変更を余儀なくされた。

第92回徳島中央メーデーは初めてWeb（YouTube）での配信とし、徳島県労働福祉会館を会場に開催した。

大谷副実行委員長の挨拶で開会し、議長団に三木連合徳島女性委員会事務局長を選出した後、主催者を代表して、新居実行委員長より「コロナウイルス感染の危険と隣り合わせにいながら、懸命に社会を支えている数多くの働く仲間がいることを決して忘れてはなりません。すべての働く仲間の奮闘を称え、感謝の気持ちを表したい。そして、私たちは、社会にはびこる偏見や差別、誹謗・中傷に毅然と立ち向かい、多様性を認め合い、活かし合う社会づくりを力強く進めて行く。この思いを、すべてのメーデー参加者とともに確認し合い、発信できればと思う」と呼びかけた。

徳島中央メーデーはWeb（YouTube）配信

美馬地区メーデー

続いて、来賓として労働福祉団体を代表して四国労働金庫徳島営業本部森本本部長、連合徳島議員ネットワークを代表して庄野県議、第49回衆議院議員選挙において徳島2区から立憲民主党公認で立候補予定の中野北島町議から、挨拶を受けた。

その後、渡邊副実行委員長からの祝電・メッセージ披露の後、①「2021中小春季生活闘争未解決組合を支援する特別決議」②「良質な公共サービスの確立を求める特別決議」と「メーデー宣言（案）」が提案され、全体の拍手で採択された。

岡連合徳島副会長の閉会挨拶の後、新居実行委員長による団結ガンバローを三唱し、第92回徳島中央メーデーを終了した。

阿南・那賀・海部地区メーデー

三好地区メーデー

未解決組合 春闘勝利めざし支援総決起集会に集う

中小の熱意を成果に結び付けよう

2021春季生活闘争徳島県共闘会議は、2021年4月2日、ふれあい健康館において、2021中小春季生活闘争勝利・未解決組合支援4・2徳島総決起集会を規模縮小して開催し、各構成組織から約60人が参加した。

冒頭、主催者を代表して、徳島県中小労働対策本部原田議長から「徳島県内の中小企業で働く多くの仲間たちのためにも、先行する大手組合の闘いの成果を波及させるとともに、コロナ禍でエッセンシャルワーカーとして、有期・短時間・契約等で働く者の賃金を『働きの価値に見合った水準』に引き上げるために

未解決組合の春闘勝利に向け
団結一本締め

も全力で闘っていく」と挨拶。続いて、新居共闘会議議長からは「春季生活闘争は社会に胸を張って対話を呼びかけることのできる労働組合の大きな取り組みである。今月からは中小企業でも同一労働・同一賃金が規定され、正社員とパートタイム労働者・有期雇用労働者の間の不合理な待遇差が禁止される。ほかにも、女性活躍推進、ハラスメント防止、在宅勤務における時間管理の適正化や環境整備など、労使で乗り切らなければならない課題があるが、働く仲間の先頭となり組織一丸となって闘い抜こう」と挨拶。

続いて、田村民間大手部会部会長からの激励・連帯挨拶の後、島共闘会議事務局長から2021年度春季生活闘争賃上げの情報周知と、未解決組合支援方針として「すべての組合は、定期昇給相当（賃金カーブ維持相当）分（2％）の確保を大前提に、産業の『底支え』『格差是正』に寄与する『賃金水準追求』の取り組みを強化しつつ、それぞれの産業における最大限の『底上げ』に取り組むことで、2％程度の賃上げを実現し、感染症対策と経済の自律的成長の両立をめざす」と提案。

官公労部会から（大谷公務労協議長）、地場中小労組からJAM（原JAM四国徳島地区協議会事務局長）、全国一般（阿部徳島地方労働組合執行委員）、交通労連（宮本徳島県支部委員長）、UAゼンセン（恵島徳島県支部次長）、農協労連（山田執行委員長）、私鉄総連（松本徳島バス労働組合調査財政部長）が未解決組合決意表明をし、2021中小春季生活闘争アピールを中小労働対策本部上村幹事が読み上げて参加者全員の拍手で採決。最後に原田議長の一本締めで閉会した。

民間大手部会田村部会長が激励あいさつ

各構成組織から60人が参加

【吉野川市議会議員選挙】

2021年5月9日告示日を迎えた吉野川市議会議員通常選挙において、連合徳島推薦の阿佐勝彦氏（JP労組出身）が当選（無投票）を果たした。ご支援・ご協力に感謝！

当選を果たした阿佐勝彦議員

第1期労働関係セミナー（計5回）開催

知識向上をめざし、課題の解決に

中小労働対策本部

徳島県中小労働対策本部は、2021年4月24日に徳島市内ふれあい健康館で第1期労働関係セミナーを開催した。雇用の不安定、賃金格差拡大など、中小労働者を取り巻く環境は年々厳しさが増している。本セミナーは組合員の知識向上をめざし、課題の解決に向け理論武装に取り組む一環として開催した。

岡幹事が司会を務め、冒頭、主催者を代表して清田副議長から「コロナ感染状況を踏まえ、縮小開催になるが、ハラスメントについて知ることから分かることへ、そして理解できるよう努めて頂きたい」と挨拶。

労働組合と政治活動について説明する新居会長

ハラスメント防止策を講演する久米弁護士

第1講座では、あわ共同法律事務所久米弁護士から「ハラスメント防止策を学ぶ～労働組合がチェック機能を～」を題として、職場におけるハラスメント関係指針を踏まえた労働組合における対応と留意点について具体的な内容や実務上のポイントを詳説。またハラスメントの現状及びハラスメントの法的な問題、裁判例を説明。ハラスメントの発生時の対応として、一人で悩まず、誰かに或いは弁護士に相談してみる方法を勧めるほか、事実関係を裏づける証拠が必要となることを述べた。最後に、ハラスメントは会社と個人にとってロスがあり、しっかり本質を見極めて、労働組合は改善状況をチェックし、ハラスメントのない働きやすい職場環境づくりに努めて頂きたいとアドバイスした。

可処分所得向上に関する知識を解説する金泉次長

第2講座では、連合徳島新居会長から「労働組合のための政治活動と選挙運動」について、公職選挙法と政治資金規正法について講演した。毎日の暮らしと政治の関りをはじめ、労働組合の政治活動や連合と立憲民主党の“共有する「理念」”などを解説。最後に、今年施行される第49回衆議院議員選挙の意義・目的と課題を説明した。参加者は選挙活動時には労働組合の求心力が求められることを再認識するとともに、候補者の必勝に向け、組織の総力を挙げて闘うことを決意した。

閉会挨拶は原副議長が「学んだ内容を組合活動に活かしてほしい」と締めくくった。

各単組から延べ87人が参加

2021年5月21日、徳島県労働福祉会館502会議室にて、徳島県中小労働対策本部は、コロナ感染予防対策の上で「第1期労働関係セミナー」第3講座を開催し、各構成組織等から25名が受講した。

講演には、四国労働金庫徳島支店 金泉大輔次長を講師に「これから先を考える!?～可処分所得向上編～」として、保険内容・通信費・ローンの借り入れと返済の仕方等を書き出して支出金額を把握し、内容を見直し改善することで可処分所得の向上につながる手段を解説した。また、増えた可処分所得の活用法として、老後2人以上の家計収支が公的年金だけで生活したとしても、それ以外に2,000万円が必要であることから、老後の資産形成のためにiDeCoを活用することで収入の悪化を防ぐとともに税制メリット（所得控除）にもなると説明がされた。他にも、NISAによる預貯金以外の運用方法についても説明がされ、今後の生活設計について考え直すことが出来た講座となった。

賃上げの波及力を高め 春闘未解決組合支援強化を

―中小春闘キャンペーン―

連合徳島は、2021年4月5日、JR徳島駅前で、「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキャンペーン」駅前街宣として「2021春季生活闘争」「ワークルール」と公務労協サービスによる「2021年良質な公共サービスキャンペーン」として「公共サービスにもっと投資を！」の合同街宣行動を行い、各構成組織等から30人が参加して街頭宣伝とプラカードによる周知活動を行った。

冒頭、連合徳島新居会長から、「2021春季生活闘争勝利・未解決組合支援4・2徳島総決起集会」での春闘支援強化に向けた方針と「連合2021春闘第2回回答集計」の説明のあと、「すべての労働者が安心していきいきと働ける環境づくりを目指し、持続可能な経済成長をしていくためにも、安定した雇用と賃金のセーフティネットを構築していく。そのためには格差是正や賃金の底上げが必要だ！ということを連合総体として社会に訴えながら取り組んでいく」と訴えた。

続いて、連合徳島官公労部会・大谷公務労協議長、四国労働金庫・森本徳島営業本部長、立憲民主党徳島県総支部連合会・庄野代表に登壇いただき、「エッセンシャルワーカーとして働く公共サービスへの投資」「労働金庫の新サービスの紹介」「立憲民主党の取り組み」について訴えた。

県民にアピールを行う弁士ら

横断幕・アピールボードで県民に周知

連合徳島

第49回衆議院議員総選挙（徳島県第2区）候補者
中野まゆみ（立憲民主党）を推薦

立憲民主党徳島県第2区総支部長
中野 まゆみ

「うれしい」を創る
1. 食の安全と安心を創ります。
2. これからの時代に合った学習指導体制を創ります。
3. 環境対策が地方創生につながる仕組みを創ります。
4. 働くことを軸とする安心社会を創ります。

「おかしい」を正す
1. 不透明な政治を正します。
2. 一次産業を持続可能な産業へと正します。
3. 過度な教育現場の負担を正します。
4. 貧困や虐待、人権侵害の連鎖を正します。